



 Paralym Art
障がい者アートを応援しています

けんぼー
「感受性の樹」
作者：けんぼー

Corporate Social Responsibility CSR 報告書 2018

報告対象期間：2018年度
2017年4月1日～2018年3月31日

Contents

P3 経営者挨拶

P4 Company Profile

事業所一覧

P4 本社

P5 彩京資源化センター〈活動と主なる CSR〉

P6 三芳資源化センター〈活動と主なる CSR〉

P7 厚木紙資源センター〈活動と主なる CSR〉

P8 草加リサイクルセンター

P8 所沢事業所

P8 蓮田事業所

P8 川崎事業所

P9 株式会社富澤 環境方針

P10 情報セキュリティ基本方針

P11 古紙リサイクルアドバイザー制度／認証・許認可／
環境報告／環境保全のための施策

P12 社会性報告

P13 各事業所の環境負荷項目・環境保全／
編集後記

P14 お客様の声

P15 グリーンサポート運動／
彩の国埼玉環境大賞奨励賞受賞

ごあいさつ

株式会社富澤「CSR 報告書2018」も日頃よりご最
厚を賜ります皆様方、ご理解を賜ります多くの諸氏、
団体の皆様方のお蔭をもちまして第9版まで版を重
ねることが出来ました。ここに謹んで厚く御礼を申
し上げます。

弊社は1925年の創業以来、紙を中心としたリサイ
クルに携ってまいりました。現在ではリサイクル、
リユース、リデュースそれぞれの視点において官民
双方に環境影響評価を取り入れた責任ある経営が求
められるまでになりました。1999年の彩京資源化
センターの開設より古紙は発生物という視点を捨て、
「古紙は創るもの」をコンセプトに資源化率、回収効
率の向上に取り組んでまいりました。出版業界の皆
様方のご協力をいただきながら2006年にスタート
した社会福祉団体、施設との取り組みも活動の範囲
を拡げ多くの団体・企業の参加をいただきながら障
がい者の方々の仕事を創出し、難処理物といわれ、
多くが廃棄されていた物の資源化に大きく寄与して
おります。昨今では国際マーケットの需要に反し国

誠實信頼

内の紙・板紙の需要、とりわけ紙の需要は減少に転じ、
国内の古紙発生量も併せて減少傾向にあります。古
紙は木材チップと異なり回収され製品になるまでエ
ネルギーの消費しからないという最大の弱点がある
わけですが、発生減少に転じた古紙を効率よく回収
し、難処理物の資源化率拡大を図り古紙の弱点克服
に取り組んでまいります。これからも高まり続ける
環境配慮とリサイクルニーズに対応し、循環型社会
の一翼を担うべくこれからも研鑽を積んでまい
る所存でございます。大正14年創業以来の社は「誠實
信頼」とともに「社会と環境に役立つ会社づくり」を
テーマに地域に根付く会社を目指し、今後も経営を
おこなってまいります。これからも引き続き皆様か
らご指導ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げ
「CSR 報告書2018」発行のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長

富澤 進一



報告対象範囲

※蓮田、所沢事業所については、環境負荷項目の一部(電力・上下水道)は
除外しています。

本社	草加リサイクルセンター
彩京資源化センター	蓮田事業所
三芳資源化センター	所沢事業所
厚木紙資源センター	川崎事業所

報告対象期間

2018年度(2017年4月1日～2018年3月31日)
※活動や取り組み内容は一部直近のものを含みます

発行日：2018年11月
参考にしたガイドライン：
環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」
お問合せ先：本社 総務経理部 寛田 昭人
TEL：048-227-3098 FAX：048-226-2044
E-mail：a.toida@tomisawa.co.jp



パラリン アートとは…

障がい者の社会参加と経済的自立を、彼らの芸術
表現を通じて一般社団法人障がい者自立推進機構
が推進する活動です。自らの才能を見つけ、活か
したい全ての人へのきっかけを与える活動を行っ
ています。

表紙の絵



「感受性の樹」
作者：けんぼー

けんぼー プロフィール

詩人 artist。精神科病院の作業療法士
として約5年働いたのち、自らの心
も壊してしまい入退院生活を送るよ
うに。そんな時、新しい表現媒体に
出会い、詩や絵を描き上げる。精神
障害をみる社会がやわらぎ、境界の
ない世界が広がることを願い活動を
続けている。

富澤の紹介

会社概要

創業 1925年10月1日
 資本金 9,000万円
 役員 代表取締役社長 富澤 進一
 取締役副社長 佐々木 強
 常務取締役 伊福 洋
 常務取締役 太田 吉計
 取締役 寛田 昭人
 監査役 岩崎 重孝
 監査役 富澤 希代美

従業員数 98名 (2018年3月現在)

主要取扱品目 [産業古紙関連]
 ◇印刷・製本会社からの排出物
 [出版物物流関連]
 ◇雑誌残本、書籍残本、付録や販促品等の難処理古紙他
 [回収古紙関連]
 ◇物流倉庫や店舗等より排出される段ボール類
 ◇一般企業より排出されるオフィス古紙や書類
 ◇機密書類
 ◇行政回収やその他集団回収の紙類

販売先 日本製紙株式会社、新東海製紙株式会社、王子製紙株式会社、王子マテリア株式会社、丸住製紙株式会社、中越パルプ工業株式会社、大王製紙株式会社、いわき大王製紙株式会社、三菱製紙株式会社、家庭紙メーカー数十社

仕入先 出版社、印刷、製本会社など数百社

富澤の歩み

1925年(大正14年)	台東区根岸において初代富澤西蔵が出版社の返加工業として富澤西蔵商店創業
1952年(昭和27年)	荒川区東日暮里において有限会社富澤西蔵商店を資本金80万円で設立
1960年(昭和35年)	代表取締役社長に富澤一郎が就任
1962年(昭和37年)	板橋紙資源センターを開設
1968年(昭和43年)	有限会社富澤西蔵商店より株式会社富澤商店に組織変更
1973年(昭和48年)	草加紙資源センターを開設
1974年(昭和49年)	厚木紙資源センターを開設
1975年(昭和50年)	創業50周年
1985年(昭和60年)	創業60周年
1988年(昭和63年)	株式会社富澤に組織変更
1992年(平成4年)	川口紙資源センターを開設 東京都産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得
1993年(平成5年)	埼玉県産業廃棄物処理業(収集運搬・積替保管)の許可取得
1995年(平成7年)	日販事業所を開設、創業70周年
1999年(平成11年)	東京都廃棄物再生事業者登録 川口事業所をリブレースし、彩京資源化センターとして、リニューアル
2000年(平成12年)	彩京資源化センターに選別ライン、破砕機等の加工設備を併設 神奈川県一般廃棄物処理施設(圧縮施設)の許可取得
2001年(平成13年)	草加紙資源センターを草加リサイクルセンターにリニューアル
2002年(平成14年)	埼玉県廃棄物再生事業者登録
2003年(平成15年)	代表取締役社長に瀧本義雄が就任。 ISO14001認証取得(本社・彩京資源化センター・蓮田事業所)
2004年(平成16年)	日販事業所をリブレースし、蓮田営業所としてリニューアル ISO14001認証取得(板橋、厚木)
2005年(平成17年)	所沢事業所開設、創業80周年
2006年(平成18年)	ISO27001認証取得(本社、板橋、彩京、厚木、蓮田)
2007年(平成19年)	古紙商品化適格事業所に厚木紙資源センター、彩京資源化センター、板橋紙資源センターが認定
2008年(平成20年)	板橋紙資源センター及び草加リサイクルセンターの古紙部門をリブレースし、三芳資源化センターを開設 埼玉県「彩の園工場」に三芳資源化センターが認定
2010年(平成22年)	古紙商品化適格事業所に三芳資源化センターが認定
2012年(平成24年)	代表取締役社長に富澤進一が就任
2013年(平成25年)	川崎事業所開設
2014年(平成26年)	神奈川県再生事業者登録
2015年(平成27年)	神奈川県産業廃棄物処理業(収集運搬)の許可取得、創業90周年
2016年(平成28年)	神奈川県産業廃棄物処理業(積替保管)の許可取得

事業所一覧

本社



■当社の中心拠点として下記の業務を行っています。

- 営業活動及び事業所の統括
- 代納管理業務
- 人事・総務・経理等の管理

〒332-0011
 埼玉県川口市元郷 3-21-31-2F
 TEL.048-227-3098
 FAX.048-226-2044



事業所一覧

彩京資源化センター



■首都圏の拠点として機能しています。

- 5,000t/月の処理能力
 - 回収古紙及び機密書類処理等、企業のニーズに対応
 - 面積：5,000㎡
 - 廃棄物再生事業者登録
 - 埼玉県計量証明事業登録
- 〒332-0011 埼玉県川口市元郷 3-21-31
 TEL.048-225-4301 FAX.048-225-4304
- | | |
|-------|------------------------------|
| ■設備 | ●250馬力ペーラーマシン……………2機(200t/日) |
| | ●破砕機(10~25t/日)……………2機 |
| | ●背糊断裁機……………2機 |
| | ●選別ライン(4t/日)……………1台 |
| | ●巻取り断裁機……………1台 |
| ■保有車両 | ●8tウイング車……………1台 |
| | ●4tバッカー車……………5台 |
| | ●10tウイング車……………2台 |
| | ●3tウイング車……………1台 |
| | ●4t車……………3台 |
| | ●2t車……………2台 |
| | ●15tウイング車……………1台 |

■機密書類回収について

個人データや社外秘などの情報漏洩が一切ないように、段ボールのまま破砕機に投入、小さい紙片に裁断します。



ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
川口市エコリサイクル推進事業所	登録
太陽光発電	太陽光発電パネルを設置し、省電力に努めています
ハイブリッド車	3台所有
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています
機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています
地域貢献活動	川口市の公立学校から古紙を回収し、トイレトーパーと交換しています
	川口市内障害者施設運営団体連絡会を通じて雑誌・付録を資源化しています 川口市内の町内会の資源回収をサポートしています 一般・産業廃棄物者に対してゼロエミッションを推奨しています

事業所一覧

三芳資源化センター



エコロジー・ヤードを運営する大型センターです。

- 3,000t/月の処理能力
 - 産業古紙及び出版関連古紙・難処理古紙を取扱う
 - 業界先駆けのエコロジー・ヤード
 - 面積：4,600㎡
 - 廃棄物再生事業者登録
- | | |
|--------|--------------------------------------|
| ■ 設備 | ● 250馬力ペーラーマシン(ダブルコンベア式)… 1機(120t/日) |
| | ● 残本選別加工ライン(1tリフター)…………… 4台 |
| | ● 背糊カッター…………… 3台 |
| | ● 巻取り断裁機…………… 1台 |
| | ● 輸出用プラットホーム… 1台 |
| ■ 保有車両 | ● 15tウイング車…………… 3台 |
| | ● 4tウイング車…………… 2台 |
| | ● 4tパッカー車…………… 2台 |
- 〒354-0045 埼玉県入間郡三芳町大字上富 197-2
TEL.049-274-7095 FAX.049-274-7125



雨水利用

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
彩の国工場	指定
太陽光発電	太陽光発電パネルを設置し、自家使用及び売電を行っています
エコキュート	エコキュートによる省エネルギーに努めています
LED照明設置	LED照明を設置し、省電力に努めています
バッテリーフォークリフト	作業用車両全て(6台所有)は、脱化石燃料を目的にバッテリー車を使用しています
雨水利用	雨水タンクを設置し、水資源の有効利用に努めています(災害時に飲み水として利用できます)

ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています
福祉施設への作業委託	福祉施設に委託し、雑誌の付録、CD・DVD等を分別し、紙・プラスチックを再資源化しています(福祉施設にきてもらい作業をして頂き、社会復帰できるように役立ててもらっています)
危険物削減	危険物の削減のため、潤滑油を高引火点潤滑油(指定可燃物)に変更しました
地域貢献活動	毎営業日事業所周辺の清掃を行い、美化活動に努めています 三芳町の公立学校から古紙を回収し、トイレトーパーと交換しています

厚木紙資源センター



厚木を中心に綾瀬、座間、海老名、相模原をテリトリーとしています。

- 2,500t/月の処理能力
 - 主に新聞・雑誌・段ボールを回収
 - 厚木市行政回収拠点
 - 面積：1,600㎡
 - 一般廃棄物処理施設(圧縮施設)許可
 - 廃棄物再生事業者登録
 - 神奈川県産業廃棄物処理業(収集運搬)許可
 - 神奈川県廃棄物処理業(積替保替)許可
 - 神奈川県計量証明事業登録
- | | |
|--------|--------------------------------|
| ■ 設備 | ● 100馬力ペーラーマシン…………… 1機(100t/日) |
| | ● 紐取機…………… 1台 |
| | ● 破袋機…………… 1台 |
| | ● 選別ライン…………… 1台 |
| ■ 保有車両 | ● 4tパッカー車…………… 7台 |
| | ● 3tパッカー車…………… 3台 |
| | ● 4tウイング車…………… 1台 |
| | ● 2t車…………… 2台 |
- 〒243-0806 神奈川県厚木市下依知 1-8-1
TEL.046-245-2985 FAX.046-245-3825



行政回収・一般回収で受け入れた袋入りミックスペーパーの袋と古紙を分別します。マテリアル別に適正な再資源化を可能にします。

ISO14001	認証取得
ISO27001	認証取得
省電力	日本テクノ株式会社 SMARTMETER を使用し、デマンド管理を行い省電力に努めています
ミスト設備	エアコンに換えてミスト設備を設置し、省電力、防塵を行っています
ハイブリッド車	1台所有
難処理系一般廃棄物	厚木市から受託し、従来古紙になり得なかった雑紙(ミックスペーパー)廃棄物を再資源化して廃棄物の減量に努めています
機密文書	企業から機密文書の処分を受託し、再資源化しています
地域貢献活動	神奈川県立高等学校(8校)の古紙を回収し、トイレトーパーと交換しています。厚木市行政回収の荷受拠点になっています

Plant list

Plant list

事業所一覧

草加リサイクルセンター (RC)



■ 出版廃棄物の加工処理を行っています。

- 難処理古紙及び産業廃棄物の資源化
- 埼玉県 東京都 産業廃棄物収集運搬 (積替保管含む) 許可
〒340-0833 埼玉県八潮市西袋 565-1
TEL.048-928-1048 FAX.048-928-1048



所沢事業所



■ 出版共同流通株式会社所沢センター内で業務を行っています。

- 主に段ボール・書籍残本の処理
〒359-0011 埼玉県所沢市南永井 619-15 出版共同流通株式会社
所沢センター内 TEL.04-2946-5580 FAX.04-2946-5580



蓮田事業所



■ 出版共同流通株式会社蓮田センター内で業務を行っています。

- 主に付録・難処理出版物の資源化
- ISO27001 認証取得
〒349-0131 埼玉県蓮田市根金 1464-1 出版共同流通株式会社
蓮田センター内 TEL.048-766-7211 FAX.048-766-7210



川崎事務所



■ 株式会社東急ストア東扇島流通センターで業務を行っています。

- 主に各店舗から回収された段ボールの処理
〒210-0869 神奈川県川崎市川崎区東扇島 23-4



株式会社富澤 環境方針

I 基本理念

当社 (本社・厚木紙資源センター・三芳資源化センター・彩京資源化センター) は地球環境の保全に努めることを基本とし、温暖化の防止、廃棄物の削減等、次世代の子供達の地球環境が、今よりも少しでも良くなる様に願い、環境破壊を少しでも低減できることに継続的改善を進める。

II 基本方針

1. 段ボール・新聞・雑誌その他の古紙回収及び供給のすべての過程における活動が環境に与える影響を的確にとらえる。
2. 環境関連の法律・規制を明確にし、遵守することを誓い技術的・経済的に可能な範囲で環境破壊及び汚染の予防に努め、環境目的・目標及び計画を定め、継続的な改善を図る。環境目的・目標及び計画は、年に一度見直しを行うことにより環境方針との整合性をはかる。
3. 環境管理の保全活動を推進するために、社員が活動できる環境管理組織を整備すると共に、利害関係者との協力を図る。
4. 各製紙メーカーの多様なニーズに対応しつつ、古紙回収ルート of 拡大を進め、関係行政及び地域住民とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。
5. 環境教育を通じて、全社員への環境方針の理解と改善活動等の実績を周知することによって、意識の向上を図り、森林資源の保護及び地域の環境改善に寄与する。
6. 内部環境監査を実施し、自主管理による環境管理システムの維持向上につとめる。
7. 当社の環境方針は、一般が入手することを可能とし、環境管理の実施状況においては、必要に応じて公開する。

平成 24 年 6 月 1 日
株式会社富澤
代表取締役 社長 富澤 進一

ISO 取得 ISO14001 (環境) 認証取得



情報セキュリティ基本方針

株式会社富澤は、お客様との信頼関係の上に成り立っています。当社がお客様の信頼を保持し、より良いサービスを提供していくためには、情報資産に対して適切な安全対策を実施し、紛失、盗難不正使用から保護しなくてはなりません。そのためには、物理的、技術的なセキュリティ強化はもちろんのこと、従業員がセキュリティに対して高い意識を持ち、セキュリティを尊重した行動をとることが最も重要だと考えます。ここに「情報セキュリティ基本方針」を定め、当社の管理下にある情報資産の適切な保護対策を実施するための指針とします。経営層を含む全従業員は、本趣旨を理解し順守します。

1	情報セキュリティの定義	情報セキュリティとは、情報の機密性・完全性・可用性を維持することと定義する。
2	適用範囲	当社の管理下にある、すべての業務活動に関わる情報を対象とする。
3	管理者の任命と義務	会社は情報セキュリティ委員会を設置するものとする。情報セキュリティ委員会は、全面的にISMSの推進を図るものとする。情報セキュリティ委員会は、各部門から責任者を任命する。責任者は各部門におけるISMSの推進に努めること。
4	リスクの特定と情報セキュリティ目標	情報セキュリティ委員会は、「情報セキュリティマネジメントマニュアル」で定めた方法でリスクを特定する。特定したリスクに対して最適な情報セキュリティ管理策を講じるものとする。すべてのリスクを定められた受容可能なリスク水準以下に軽減することを情報セキュリティ目標とする。
5	従業員の義務	アルバイト社員を含む全従業員は、「情報セキュリティ基本方針」、「情報セキュリティ規定」および情報セキュリティの手順 に準じて行動すること。
6	個人情報保護	会社は、個人情報保護法に準じて個人情報を管理するものとする。
7	機密情報管理	会社は、不正競争防止法に準じて顧客および当社の秘密情報を管理するものとする。
8	著作権保護	会社は、著作権法に準じて著作物を管理するものとする。
9	秘密保持契約	会社は、顧客との秘密保持契約事項に準じて情報を管理するものとする。
10	教育	情報セキュリティに関する啓蒙・教育活動は、経営層の支持のもと、情報セキュリティ委員会で推進を図るものとする。

平成24年6月1日
株式会社富澤
代表取締役 社長 富澤 進一

ISO取得 ISO27001(情報セキュリティ)認証取得



古紙リサイクルアドバイザー制度

「古紙リサイクルアドバイザー」認定制度は「古紙商品化適格事業所」の運営の円滑化のため、古紙リサイクルを業とする事業者、従業員の社会的地位の向上及び地域の古紙リサイクルの促進並びに円滑化を図ることを目的としています。

認定資格取得条件は全原連の実施する認定試験に合格した者で、2018年9月現在、当社で50名が認定取得しています。また、「古紙商品化適格事業所」には当該資格を持つ「品質管理責任者」がいることが義務付けられています。

古紙リサイクルアドバイザーの職務は

- 1 「古紙商品化適格事業所」の「品質管理責任者」業務
- 2 地域の古紙リサイクル啓蒙活動への参加（出前講座の実施など）
- 3 行政及び地域団体あるいは古紙排出事業者への品質及び排出指導
- 4 製紙会社及びリサイクル関連業界の行う古紙品質勉強会への参加等を行う。

認証・許認可

認証

環境マネジメントシステム (ISO14001)	2002年4月26日認証取得 2017年度の審査において是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。又三芳資源化センターが実施している以下の仕組みが「グッドポイント」として審査機関より評価されました。 ● 各人が持ち回りにより、作業所の安全・環境面について「評価表」を使用してチェックしている。 ● 各人が安全・環境面から行動等をレビューし、「アセスメントチェックシート」に記録している。 ● 上記で挙がった問題点を毎月一回「DC」で議論している。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構
情報セキュリティマネジメントシステム (ISO27001)	2006年9月15日認証取得 2017年度の審査において是正処置を必要とする重大な不適合はありませんでした。
認証機関	一般財団法人日本品質保証機構
古紙商品化適格事業所認定	厚木紙資源センター、彩京資源化センター、三芳資源化センターで認定
認定機関	全国製紙原料商工組合連合会

環境報告

株式会社富澤はCD・DVD・玩具などに使用されている紙又は行政回収された様々なミックスペーパーなどを選別し、古紙化しています。これ等は従来古紙になり得なかったもので、産業廃棄物若しくは一般廃棄物として焼却又は埋め立て処分されてきました。これらを福祉施設や弊社の資源化ラインを介して、資源の再生と廃棄物の減量を図ることを可能にしております。「古紙は製品」という弊社の方針が環境保全に整合している事例です。環境管理についてはISO14001を基に、又「2007年版 環境報告ガイドライン」を参考に弊社の環境への負荷を特定、測定し、継続的な改善を図っています。以下の頁などをご参照下さい。

環境保全のための施策

株式会社富澤は環境保全の施策として太陽光発電装置を彩京資源化センター、三芳資源化センターに設置しています。発電量は13pをご参照下さい。



社会性報告

福祉施設への作業委託

株式会社富澤は埼玉県、東京都内の福祉施設と提携し、雑誌の付録や食玩などを素材別に選別し資源化を委託しています。学校、企業、各種団体等の紙リサイクル出張講習なども無料で行っています。

社会貢献活動

社会福祉施設への作業委託数量					
1	社会福祉法人 久美愛園	14	川口市社会福祉事業団 生活介護さじばと・夢工房	26	社会福祉法人 邑元会 しらびき
2	入間東部福祉会 入間東部みよしの里	15	恩賜財団埼玉県済生会 ワークステーションみのり ワークステーション西川口	27	埼玉県立川口特別支援学校
3	社会福祉法人 親愛会	16	特定非営利活動法人 友垣の里	28	埼玉県立浦和特別支援学校
4	所沢市社会福祉協議会 所沢市立きぼうの園	17	特定非営利活動法人 くれおん あみくる	29	東京都北区立王子福祉作業所
5	三芳町心身障害者地域授産施設 三芳太陽の家	18	特定非営利活動法人 とくもん家 もんきいぼっど	30	NPO 法人 あゆみ福祉会
6	総合福祉センター take 第三テイク	19	特定非営利活動法人 糸ぐるま	31	社会福祉法人 ささの会 レタス
7	越谷市手をつなぐ育成会 テイクケア施設 野の花	20	株式会社リズム	32	社会福祉法人 むさし野 たんぼぼ会
8	障害者支援施設 ゆいの里	21	特定非営利活動法人 ほっとすてーしょん	33	富士見市立富士見特別支援学校
9	福祉作業所 ひばり園	22	社会福祉法人 ひふみ会 光福	34	社会福祉法人 朝霞地区福祉会 すずらん
10	社会福祉法人 さいたま市観の木やまぶき	23	特定非営利活動法人 たんぼぼ福祉村 one da full Days	35	越谷西特別支援学校
11	特定非営利活動法人 パオパの木ぞらのいろ	24	特定非営利活動法人 フレンズネットワーク	36	所沢おおぞら特別支援学校
12	八潮市障がい者福祉施設 わかくさ	25	社会福祉法人 戸田わかさ会 ゆうゆう	37	社会福祉法人 幸光福祉会 桃の里
13	社会福祉法人 ひらく会 みんと			38	八潮市福祉作業所 虹の家
合計 38施設・1657t					

労働安全訓練

毎年4月10日に実施しています。

防火防災訓練

毎年4月10日に実施しています。

美化活動

全事業所において毎営業日に事業所周辺の清掃を実施しています。

CSR活動を担保するための社内運動

弊社の行うCSR活動を担保するために次のような活動を行っています。

1月	「挨拶励行月間」実施
3月・11月	「火災予防月間(春秋)」実施
4月・10月	「作業安全月間(春秋)」実施
4月～5月	「整理整頓美化運動」実施
6月	「機械・車両メンテナンス月間」実施
7月・8月	「夏の健康管理月間」実施
10月・11月	「作業改善提案運動」実施

社用車の整備

スマートドライブシステム導入で、安全運転を徹底

ドライバーの運転状況を把握できる「スマートドライブシステム」を導入。急ブレーキや急加速などを即座に確認でき、安全運転の指導に活かされています。日々の運転評価やデータ収集などにより、全社をあげて事故削減や燃費改善などに注力しています。



各事業所の環境負荷項目・環境保全

各事業所の環境負荷項目

事業所名	2017年度使用数量					
	電気(kwh)	都市ガス(M3)	LPG(kg)	軽油(L)	ガソリン(L)	
本社(本社・彩京資源化センター)	311,933	0	22,263	46,187	15,418	
三芳資源化センター	271,976	0	2,483	31,058	2,512	
厚木紙資源センター	133,081	0	0	122,852	2,638	
蓮田事業所	6868	0	2536	0	0	
所沢事業所		0	1,538	0	0	
川崎事業所	135,150	0	0	0	0	
合計	859,008		28,820	200,097	20,568	
※蓮田事業所、所沢事業所は出版共同流通株式会社様の施設内にあり、一部のデータは計測出来ません。						
二酸化炭素(CO2)排出数量	換算係数	0.474 (1000kwh)	2.23 (1000M3)	3.00 (1t)	2.58 (1kl)	2.32 (1kl)
	排出数量(t)	407.2	0.0	86.5	516.3	47.7
	全事業所合計(t)		'17 1,057.4		'16 1,003.4	
原油換算数量	換算係数	0.25722 (1000kwh)	1.16 (1000M3)	1.31064 (1t)	0.97266 (1kl)	0.89268 (1kl)
	排出数量(t)	221.0	0.0	37.8	194.6	18.4
	全事業所合計(t)		'17 471.8		'16 446.1	

全事業所の環境保全	2017年度実績				
	エコカー	太陽光発電	雨水貯蔵能力	エコキュート	LED照明
	ハイブリッド 乗用車4台 バッテリー フォーク6台	4,000kwh	15M3	温水をトイレ、 厨房流し台で 使用	外灯用5機

編集後記

昨年7月の九州北部に続き、今年7月、8月に西日本を中心に北海道までの広範囲における豪雨、そして9月北海道胆振東部中心に最大震度7の地震がありました。

頻発する近年の自然災害(地震、豪雨、豪雪、台風、火山噴火、竜巻等)は今まで予期していなかった地域でも発生しています。自然災害はいつでもどこでも起こっても不思議ではありません。日頃より備蓄などしておくことが必要になってくるかと思うようになりました。

全国高校野球選手権は100回を迎え、代表校は例年より7校多い史上最多の56校で熱い熱戦を繰り上げた結果、大阪桐蔭高校が春夏連覇という形で幕を閉じました。しかし、準優勝になった秋田金足農業高校は秋田県勢103年ぶりの決勝にコマを進めたということで、地元が元気になったように見えました。

今回で9版目になる「CSR報告書2018」を発行することができました。また、次回発行できるよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

お客様の声

株式会社富澤様とは、出版取次各社様を通じて、日本全国の販売店からの販売残本の処理、また、雑誌残本の付録処理、段ボールの回収などで、永らくお取引をさせて頂いております。出版物も時代の変遷とともに、また昨今の取り巻く販売環境の変化も影響し、様々な商品が市場に流通しております。とりわけ雑誌の付録に関しては複雑多様化しており、その一つ一つの取り扱いに、長年のノウハウを活かした厳格な品質管理とコストコントロールが導入され、

弊社に対しても大きな成果を頂いております。背景には、法令を遵守する体制の維持、セキュリティ強化への取り組みやCSR活動への貢献も含め、幅広い視野とそれを確実に実行できる体制が構築されており、安心して業務をお任せできるパートナーとして今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

出版共同流通株式会社
代表取締役社長 北林 誉

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここ最近国内外の諸事情が激変しており、需給バランスが大きく崩れる中、弊社の安定操業の為に常日頃から良品質の古紙を安定的に供給して頂き誠に有難うございます。また貴社の事業所に訪問させて頂いた際は、従業員の皆様が「いらっしゃいませ」と気持ちの良い挨拶をしてくださいました。社員教育にも徹底され感動しました。

全社で品質への意識が高く業務に取り組み、弊社としても安心して古紙の購入をする事ができております。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

丸王製紙株式会社
代表取締役社長 渡邊典正

株式会社富澤様には、古紙回収専属車輦としてご依頼頂き、早12年が経過しました。これは、株式会社富澤様が発展、向上し続けている証だと考えております。弊社乗務員を御社員様と分け隔てなく、ご指導教育して頂き働きやすい環境を提供して頂いている事に大変感謝し嬉しく思っております。また、富澤様が活動されている社会貢献や環境への取り組み姿勢、そして社員皆様の仕事に対する姿勢に高く共鳴すると共に、富澤様の社是である「誠實信頼」と「おもてなし」の

精神を忘れず、今後も株式会社富澤様には万全なる協力体制、良品品質を提供し物流パートナーになれるよう努力していく所存です。最後になりましたが、株式会社富澤様のさらなるご活躍とご発展を心より祈念申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。

エスエスサービス株式会社
代表取締役社長 飯野 和吉

株式会社富澤様におかれましては、古紙問屋として「紙のリサイクル」に携わり、近年では廃棄物資源化を推進し、「省エネルギー」「ゼロエミッション」に取り組む等「まちづくり」に貢献しています。また「グリーンサポート運動」にも参加することで紙ごみを減らすとともに障がいを持っている方々の「紙のリサイクルという仕事」を生み出し、

地区内の障がい者施設と連携により障がい者の方々の自立支援、雇用機会増加に寄与し地域貢献活動を展開しております。今後とも、地元を応援する企業と致しまして、益々のご発展を期待しております。

埼玉縣信用金庫 川口朝日支店

紙資源の回収として障害者の仕事量を増やす目的で「グリーンサポート運動推進事業」に参加しました。日頃、パン・クッキーを製造している仲間たちにとって、古紙回収担当に選ばれることは、誇りであり、喜びに満ちています。古紙回収は社会参加とエネルギーの発散にもなっています。猛暑の中、大汗をかいて戻ってくる姿も疲労感より満足感の方が大きいようです。

保護者ボランティアも回収に参加されているし、各利用者のご家庭から、近隣の事業所からも回収事業の協力を得ています。

年度初めに、今年度の回収目標は〇〇円と掲げると「頑張ります」と応えております。仕事量が増えたとエッアップに繋がることを仲間たちは励みに今日も元気よく車に乗り込んでいます。株式会社富澤様の絶大なご協力ご支援で回収場所が増えることに感謝申し上げます。

これからも資源リサイクル運動に参加しエコ活動に協力して参ります。

特定非営利活動法人ほっとすてーしょん
施設長 高橋千代子

グリーンサポート運動

「グリーンサポート運動」に参加しています

弊社では、平成24年より川口市の「グリーンサポート運動」に参加し、エコ活動に協力しています。

グリーンサポート運動とは



使い終わった紙を寄付すると、障害のある方々に「紙のリサイクルという仕事」が生まれます。
川口市では燃やすごみに年間61億円（燃やすごみの43%が紙類）もかかっています。
紙ごみを減らすことは川口市を豊かにするのです。

●「グリーンサポート運動」の参加企業等は360以上になりました。
(郵便局、小学校、薬局、信用金庫、幼稚園、事務所、工場など)

- ① みんと（安行慈林）
- ② 友垣の里（上青木西）
- ③ らいぶ（西新井宿）
- ④ ワークステーション西川口
- ⑤ 就労継続支援さじばと（里）
- ⑥ ほっとすてーしょん（八幡木）
- ⑦ このまんま（柳根）
- ⑧ リズム（前川）
- ⑨ リズムステップ（東川口）
- ⑩ 久美愛園（さいたま市緑区）
- ⑪ 埼玉県障がい者共同作業所（さいたま市南区）

●川口市内の小中学校・高齢者施設から古紙回収風景。



各学校・施設を巡回し、集められた古紙を回収しています。

平成29年度 彩の国埼玉環境大賞奨励賞を受賞

グリーンサポート運動が埼玉県から評価され、奨励賞を受賞。平成30年2月、知事公館にて上田知事より表彰状をいただきました。障害をもった方々の仕事が増えていくよう、さらに運動を発展させてまいります。

平成29年度 彩の国埼玉環境大賞表彰式



平成29年度 彩の国埼玉環境大賞表彰式





<http://www.tomisawa.co.jp/>

[本 社] 〒 332-0011 埼玉県川口市元郷 3-21-31-2F
TEL.048-227-3098 FAX.048-226-2044

[事業所] 彩京 三芳 厚木 草加 蓮田 所沢 川崎